

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業評価報告書（収益性向上対策）

都道府県名 愛媛県

産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

成果目標

販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																				スマート農業推進枠	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
					現状					目標					実績					事業実施前年度	目標年度													
					年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位			年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位		価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位							
周桑地区農業再生協議会	1	周桑地区(周桑農業協同組合管内)	野菜(アスパラガス)	施設野菜(アスパラガス)の産地化の推進 周桑地区における基幹作物であるアスパラガスの規模拡大及び新規参入を推進することにより、販売額10%以上の増加を実現する。	H25 5 2 7 年度平均	255,884 千円	14.2 ha	237 t	1,079 円/kg	-	R2	318,954 千円	17.7 ha	296 t	1,079 円/kg	-	R2	227,412 千円	13.7 ha	204 t	1,115 円/kg	-	1,118 (H25~ 27年度 平均)	円/kg	1,130 円/kg	0.989	224,918 千円	-49.1%	夏期の高温による品質及び反収の低下、高齢化による廃作者の増加が新規取組者や増反者を上回ったことにより、生産面積が現状値や目標値を下回り、目標は未達成となった。また、JA周桑独自のパイハウス設置助成により生産振興を図っているものの、近年の資材高騰により、新規栽培者及び生産面積拡大者が伸び悩んでいることも要因となっている。今後の取組として、夏期の高温対策については、新規・増反者には有換気ハウスの導入、既存生産者には遮光ネット設置や石灰資材の塗布等により、ハウス内の温度を下げる指導を行う。また、JA周桑の独自助成の活用や地域の空きハウスや廃作者のハウスを紹介することで、初期投資を軽減し、新規栽培者や増反者を確保し、面積を拡大することで、生産量・販売額の増加に繋げる。	目標未達成 高齢化による廃作者の増加により、産地面積が減少してしまったことが大きな要因と考えられる。また、夏期高温による品質及び反収の低下もまた、JA周桑独自のパイハウス設置助成により生産振興を図っており、積極的な取組を推進するほか、高温対策を徹底することで生産性向上につながるよう関係機関と連携し指導する。	【面積要件】 実施要領別紙4のAに該当 【総販売額で比較する考え方】 地域の平均販売額1,014,771円/10a 対象作物(アスパラガス)の販売額1,734,856円/10a (地域の主要36品目中5位)			
松山市地域農業再生協議会	1	松山市(えひめ中央農業協同組合)	果樹(かんきつ類)施設愛媛果試第28号))	施設愛媛果試第28号の産地化の推進 POフィルム(巻き上げ)、果樹用反射マルチの導入による品質の向上及び栽培面積の拡大を図る取り組みを推進することにより、販売額の10%以上の増加を実現する。	H27	274,865 千円	34.4 ha	443.6 t	620 円/kg	-	R2	444,620 千円	55.7 ha	809.2 t	550 円/kg	-	R2	675,219 千円	51.6 ha	1130.5 t	597 円/kg	-	743 円/kg	755 円/kg	0.984	664,110	229.2%	施設栽培に係る資材の導入により、高品質な果実の安定的な生産が図られ、販売額の目標を達成できている。しかし、当該産地の対象品目である「紅まどんな(愛媛果試第28号)」は、ハウスでの施設栽培が必須となっており、近年の鉄鋼資材高騰の影響により、計画当初の頃に比べ施設整備に更に多額の費用が発生することになってしまったことが生産者に大きな負担となったことからハウス整備が困難となり、作付面積が目標を下回った。今後は、単年事業等により生産者に対する施設化の支援を行うことで作付面積の増加を図るとともに、引き続きブランド価値を高めることで、販売額の増加を目指すよう指導を行う。	事業の活用により販売金額が増加し、成果目標を達成することができた。今後も栽培指導を徹底し、高品質・連年安定生産に取り組み、更なる産地の販売額増加を目指す。					

松山市地域農業再生協議会	2	松山市、小山市、萩原地区	【果樹】伊予柑、レモン、キウイフルーツ、ゆず 【野菜】大根、人参、にんにく、唐辛子、カボチャ、ごぼう、トマト、玉葱、そら豆、馬鈴薯、ネギ、ゴーヤ、生姜	有機果樹及び有機野菜産地の形成の推進 ○有機農産物を活用した乾燥加工品の生産能力の向上を図るため農産物処理加工施設の整備 ○加工品に適した作目の新規作付	販売額の10%以上の増加	H28	166,372円/10a	(果樹) 10.7 ha (野菜) 5.2	(青果) 129,344 kg (乾燥加工品) 2,460	(青果) 129 円/kg (乾燥加工品) 3,953	-	-	R2	249,931円/10a	(果樹) 10.7 ha (野菜) 5.2	(青果) 108,299 kg (乾燥加工品) 4,961	(青果) 139 円/kg (乾燥加工品) 4,982	-	-	R2	257,771円/10a	(果樹) 10.7 ha (野菜) 5.2	(青果) 149,342 kg (乾燥加工品) 4,169	(青果) 151 円/kg (乾燥加工品) 4,425	①現状値：平成28年売上高及び面積より算出 (有限会社てんぼ印決算資料) ②目標値：令和2年売上計画及び面積から算出 ③実績値：令和2年売上高及び面積より算出 (有限会社てんぼ印決算資料) ④達成率：(③-①)÷(②-①)×100	109.3	青果・加工品ともに生産量・販売額を実施前と比べて伸ばすことができ、無事に目標を達成できた。本事業で加工処理施設を設置したことによって、それまで行っていた手作業や遠隔地での作業が大幅に軽減され、なおかつその労力を生産量の向上に回せたということは事業をしっかりと活用できているということであり、大いに評価できる。本協議会も今後の発展を引き続き注視していきたい。	目標達成事業実施後から着実に生産量及び販売額を伸ばしている。乾燥加工品の実績は目標に届かなかったものの、事業実施により加工製造に係る生産性が向上し、野菜・果樹栽培への作業労力配分がうまくできたことが功を奏したと考えられる。乾燥加工品の生産拡大を進め、更なる経営発展を図ることを期待する。	今回対象の商品は全て単価固定でパイヤー(無茶々園)に出荷しているため、価格補正は不要
四国中央地域農業再生協議会、新居浜市農業再生協議会、西条地区農業再生協議会、今治市農業再生協議会	2	東予	野菜(さといも)	さといもの産地化の推進 ①品質確保・安定供給による需要ニーズへの対応 ②業務加工用等による高付加価値商材の開発に対応 ③産地全体での高品質・単収取量の高位平準化への取り組み	販売額の10%以上の増加	H28	454千円/10a	#### ha	2,215 t	205 円/kg	-	-	R2	528千円/10a	127 ha	3,170 t	211 円/kg	-	-	R2	494千円/10a	#### ha	2,889 t	227 円/kg	①現状値：平成20年産から平成28年産全農販売実績より算出 ②目標値：令和2年度全農取扱い計画より算出 ③令和2年度全農販売実績資料から算出 ④達成率：(③-①)÷(②-①)×100	89.1%	本年度は、規格外品の発生や疫病・寒波等による品質の低下により、出荷量が目標数量を下回り、その結果、成果目標は未達成となった。今後は、生産農家に対し、規格外品や疫病の発生防止に向けた講習会やセミナーの開催、コロナ禍でも生産農家に対しメールでも栽培指導できる体制を整えるとともに、生産拡大をする中で、大型集荷容器「鉄コンテナ」とフォークリフトを農補助事業を活用し導入、出荷形態の変更要望に対応できるよう環境を整えたことから、作業効率の向上、出荷コスト削減による反収等の増加を図り、目標達成を目指す。	選果場を核とした広域産地の振興が進み、栽培面積は着実に増加しているものの、病害や寒波等による品質低下により単収が伸び悩んだ。同地区のさといも産地は今後も順調に拡大する見込みとなっているが、産地拡大に伴い、栽培技術の未熟な新規栽培者の増加による労働力不足など単収が伸び悩む要因が想定されることから、関係機関が連携し、栽培指導体制を強化することで栽培技術の底上げを図るとともに、農業機械の導入やコンテナ出荷など省力的な出荷を推進することで目標達成を目指す。	

都道府県平均達成率	72.2%	総合所見	県平均達成率においては、目標未達成。未達となった要因は、夏季の高温による品質及び単収の低下、高齢化による廃作者の増加により産地面積が減少していることに加え、病害等による品質低下等が原因と思われる。今後、目標達成に向け、関連機関と連携し、栽培指導・営農支援、独自助成支援等の活用推進等の指導を行う。
-----------	-------	------	--